

鶺鴒の木地区地域情報紙

第83号

鶺鴒の木特別出張所管内の人口

(平成27年9月1日現在)

男 11,679人

女 12,752人

計 24,431人

世帯数 13,155世帯

オ・ア・シ・ス運動

あいさつで心が通う

地域の輪

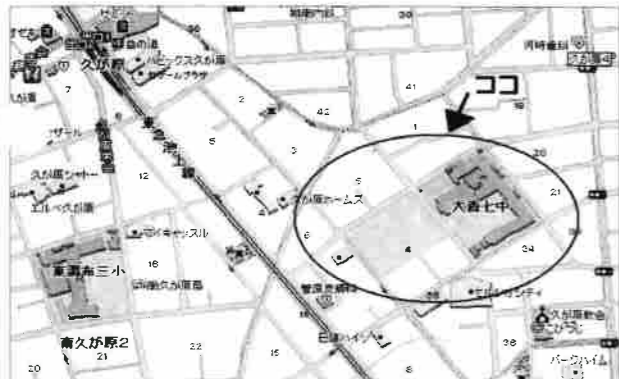
発行：地域力推進鶺鴒の木地区委員会

編集：鶺鴒の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶺鴒の木特別出張所

電話(3750)4241 FAX(3750)2418

大森七中 東急池上線久が原駅より徒歩7分



第22回 鶺鴒の木地区連合運動会が開催されます!!

日時：10月4日(日) 午前9時30分 ~ 午後3時15分

毎年盛り上がる町会対抗競技大会は、今年も鶺鴒の木地区連合運動会が10月4日(日)、大森第七中学校グラウンドで開催されます。鶺鴒の木地区連合運動会は、鶺鴒の木特別出張所管内7町会が一挙に会して行われます。すでに各町会、小中学校のPTA、青少年から推薦された方々で実行委員会が組織され開催に向けて準備を進めてまいりました。



今年も鶺鴒の木地区連合運動会が10月4日(日)、大森第七中学校グラウンドで開催されます。鶺鴒の木地区連合運動会は、鶺鴒の木特別出張所管内7町会が一挙に会して行われます。すでに各町会、小中学校のPTA、青少年から推薦された方々で実行委員会が組織され開催に向けて準備を進めてまいりました。



今年もすべての競技において、参加者全員にもれなく賞品が貰えるというのもこの連合運動会の特徴の一つです。皆さんに期待して頂けるような賞品をご用意しております。また、閉会式で行われるお楽しみ大抽選会など、アトラクションも盛りだくさんです。



吹奏楽部の演奏、東京高校チアリーダーの華麗な演技、鶺鴒の木二丁目町会「多摩川鶺鴒の木太鼓」の目町会「こども太鼓」、盆踊りとお昼も楽しんで頂けると幸いです。

鶺鴒の木まつりが開催されました

7月22、26日、鶺鴒の木駅周辺で全国鶺鴒の木まつりが行われました。メインは25日。揚げパンなど全国14カ所の「うのき」特産品とくじが交換されました。今年はいベント広場を富士見通りに移し、七中吹奏楽部や鶺鴒の木太鼓、東京高校チアリーダーやキッズビスケットが出演。今年のなまはげは巡回だけでなく、撮影スポットもあり、子どもの悲鳴が響き渡りました。他に縁日などもあり、多くの人で賑わいました。



取材：文・写真 鳥海 美香

知っていましたか？ 自転車運転者の受講命令！

6月1日から自転車の交通安全講習が厳しくなり、悪質な運転者に対して、講習の受講が義務付けられ、講習を受講しない場合は、道路通行止め、車と自転車同様の厳格なルールが適用されます。

も高額になっていきます。道路には見えないルールがあります。

資料提供 池上警察署

まごころサポート 『車いす』 無料で借りられます

区内在住の方で、障害の有無、年齢にかかわらず、車椅子が必要な方に無料でお貸しします。貸出期間は最長1か月間です。

渡辺風呂店 鶺鴒の木2-10-2 3750-7801

10月1日から「発泡スチロール」が資源回収品目に加わります

大田区では、ごみの減量と資源化を図るため、現行8品目に、新たに「発泡スチロール」を加え、区で回収する品目は9品目になります。汚れないきれいな発泡スチロールをおだし下さい。中身の見える袋に入れて、朝8時までに集積所へお願いします。

大切な資源になります。区民として大いに協力しましょう。環境清掃管理課清掃リサイクル担当 5744-1628

出張所だより

《行事予定》

※詳細については各町会掲示板等でご確認ください

- 鶺鴒の木東町会 11月29日(日) 防災訓練
- 12月26日(土) 29日(火)
- 鶺鴒の木西町会 11月29日(日) 防災訓練
- 12月25日(金) 29日(火)
- 鶺鴒の木二丁目町会 10月25日(日) 合同防災訓練
- 12月13日(日) 子ども餅つき大会
- 12月25日(金) 29日(火)
- 鶺鴒の木三丁目町会 10月25日(日) 合同防災訓練
- 12月20日(日) 餅つき大会
- 12月21日(月) 30日(水)
- 1月4日(月) 13日(水)
- 1月10日(日) どんど焼き
- 千鳥南町会 12月6日(日) 防災訓練
- 12月23日(水) 29日(火)
- 千鳥北町会 12月6日(日) 防災訓練
- 12月20日(日) 26日(土)
- 南久が原一丁目町会 12月6日(日) 子ども餅つき大会
- 12月22日(火) 27日(日)

◎10月に5年に一度の国勢調査が実施されます

日本の人口、世帯実態を明らかに知る事を目的とした、国の最も重要な統計調査です。日本国内に住んでいる全ての人が(外国人も含む)と世帯が対象です。9月から先行でインターネット経由回答が始まっています。調査員による回収も可能です。結果は国や地方公共の福祉、雇用、防災、環境など、立案のための基礎資料に利用されます。国、地方そして、調査員に協力をしていきましょう。

編集後記

これを書いている時は真夏日の真最中。汗もボタボタ。発行10月秋。ホッとします。10月4日鶺鴒の木地区連合運動会。編集は前へ前への先取りで書いて行くことが多い。今回は消防団のポンプ操法訓練、4月・5月と夜間・昼間の密着取材をした。訓練とは言葉、目標を持った真剣な姿勢に人としての手本をみる。道路使用許可も関係機関から、また、近隣の皆様にも「あいさつ」はかせない。「うるさい！」と一部からお叱りも受ける。周囲を気にしながらのハンデも背負っていることも事実である。

編集長 田中 裕

学校防災活動拠点 活動状況

東調布第三小学校

本部長 美谷島 善昭

東調布第三小学校の「学校防災活動拠点」の活動も、今年で3年目。地域の力を結集し、連携・協力して災害を乗り越えていくことを目的に、様々な取組を行っています。

まず、7月21日(火)に3ヶ所に分散している備蓄倉庫内の資器材の移動を行いました。一人でも多くの命を救うため、救命場所・位置に置くなど、皆で知恵を出し合いました。

また、8月8日(土)に本番を想定し総合訓練を実施しました。東町会・西町会・東三小PTAなど約50名が参加し、地域の被災情報を集約したり、救命訓練を行いました。



このように、地域住民・小学校・出張所が手をとりあい、日頃から災害への備えを行うことが「学校防災活動拠点」の活動です。

※大森第七中学校は今年度、拠点化される予定です。

嶺町小学校

副本部長 堀江 敏雄

災害に立ち向かう「学校防災活動拠点」となり、組織は刷新され運営主体は地域で、鶴の木・三丁目町会長が本部長、学務主任が副本部長、校長が学務主任、災害に対する備えは訓練の積み重ねが大切であり、岩間会長も「災害に対する訓練を充実し、ご近所力で傷病者ゼロを目指す」と話します。

7月12日(日)に拠点訓練を実施しました。また、10月25日(日)の合同防災訓練は嶺町小学校の学習環境をどの様に活用するに災害に立ち向かえる施設になるのか、そして、住民が拠点となるのに関わるのかを訓練し体験する事も拠点活動の大切な取り組みとされています。商店会、PTO、企業等地域に関わる多くの方々に参加頂き、万々に備えて行きたいです。



また、東京都の地域の底力再生事業を活用し、活動資料の充実を図ります。

※9月1日の「防災の日」に合わせ、区内全域で一斉に「命を守るための3動作」(シエイクアウト訓練)を実施しました。

千鳥小学校

情報部 細田 政男

災害時の援助活動や在宅避難者の見守りなどを行います。今までの避難所機能を拡充すると共に新たに情報拠点や地域住民と協働し地域に密着した対応、学校に隣接している千鳥南町会、矢口中町会、矢口北町会の災害情報を拠点で集約し、鶴の木・矢口特別出張所を経由し、災害本部に伝達する役割を担っています。

組織は、本部、情報部、食糧物資管理部、施設衛生部、福祉相談部、地域活動部で構成されています。毎年、防災拠点としての役割を担うべく訓練を実施してまいります。



7月18日(土)に、組織された防災活動拠点各部の人員が避難者の保護や援護に向けた準備の訓練を実施し、約80名が参加しました。今後も継続して訓練を行います。いざという時に備えておきます。

町会長が消防で個人賞!



5月31日消防団可搬ポンプ操法審査大会の会場、「発表します。優秀選手個人賞指揮者の部第3分団部長 美谷島 善昭」

「おお!」周辺の観客席や関係者から歓声とどよめきがあった。田園調布消防署・9分団中の一位に選ばれた。可搬ポンプ(リヤカー型車両に動力ポンプ搭載)を指揮者が隊員4名の指揮をとる。服装、規律、タイムを減点法とする審査。70歳近くでの走るスピード、キビキビした動作も見ていて気持ちがいい。活動服の下は、若くから鍛えられた筋肉が体を包んでいる。パワーある動作、頭の回転のよさも納得できる。

文田中裕

元オリンピック選手が教えてくれました

嶺町小学校

校長 東山 良彦

9月6日(日)嶺町小学校体育館で、大田区の「オリンピック・パラリンピック アクシオンプログラム事業」の一環として、「オリンピックのボート競技に出場された方々による講演大会」が開かれました。メルボルン大会・パルセロナ大会・アトランタ大会等で実際に選手としてオリンピックを経験された方々のお話は大変興味深いものでした。



その後、希望者は、多摩川へ移動して実際にボートに乗る体験もできました。気持ちよく漕ぎ、水面を滑るようになっていきました。

また、ローイングマシンと用具を使い、レース体験も体験する子どもたちもたくさんいました。親子で一緒に漕ぎ、楽しんでいた様子も伺えました。漕ぎの姿勢は、本物のボートに乗った「子もいました。」

他にも、オリンピッククイズやお絵かきコーナーなどがあり、

参加者は熱心に取り組んでいました。「みんな集まれ!未来へつなげ!」の表題のとおり、もしや「オリンピック」の中から将来のオリンピック選手が生まれるかもしれません。



鶴の木地区には「多摩川」というすばらしいフィールドがあります。ボートやカヌーなどのスポーツもできますし、川に入つて魚やエビ・カニなどの生物とふれあうこともできます。サギやカモなど野鳥を見ることもできる貴重な場所です。「オール環境を大切にしながら、有効活用していきたいものです。」

花苗を配布します

水と緑のまちづくり分科会 委員長 掛川 正昭

大田区18色の緑づくり支援事業に参加し、年二回地域の花として皆様に育成を中心にお手伝いをお願いしております。鶴の木地区の花として、春まきの花はハイビスカス、秋まきの花はパンジーを配布します。花と緑に溢れた潤いのあるまちづくりにご協力願います。



6月初旬に配布したハイビスカスは花が咲き終わりますので、来年も咲かせる為、冬越しの準備をして下さい。11月上旬までに室内に取り込み、全体の3分の1程度に切り詰め、室内の窓際で日光によく当て、水やりは控えめに肥料は与えず、5月中旬頃には戸外へ植え替えます。

鶴の木地区 キックベース大会及びミニバスケットボール大会が開催されました

青少年対策鶴の木地区委員会 会長 保苅 一興



7月12日にキックベース大会とミニバスケットボール大会が大会が大会とグラウンドで行われました。今年度は、チームで例年より少し早い開催になりました。バスケットボールはチームの要望で二部(4年生以下)の試合が少なかった。途中で低学年の試合はさんだりして、大変盛り上がる試合が続きました。

野球大会は選手が足りないチームがあり今年中止となり、変わりにキックベース大会が行われました。小学校への連絡が徹底せず、参加者が少なかった。大会は、子どもたちが楽しんでいる様子も伺えました。

	優勝	準優勝	3位
男子	リトルスターズ	嶺町サンダー	千鳥BBC
女子	リトルスターズ	嶺町サンダー	千鳥BBC

カヌー体験とオリンピック選手のトークショー

日時: 11月21日(土)

9:00~12:00

場所: 嶺町小学校 体育館